

せいしよかしよ
聖書箇所： ヨシュア記1:1～9、 Pr.Hitoshi Saito

テーマ「2020年は主があなたを通して働かれる」

ほんぶん
本文を3つに分けて学びましょう。 第一：神の計画(1～4)。 第二：神の約束(1:5)。 第三：神の
めいれい
命令(6～9)。

だいいち
第一： ヨシュアを通してイスラエルに示されている神のご計画。

A—「今、あなたと、この全ての民は立って」。(その説明)。今から神が語ろうとしている御言葉を、耳で聞いて服従する用意ができていますか？ 神の要求が迫っている事を示す。「立て」とは、「決断せよ」あるいは「準備せよ」の意味である。

B—神の御計画は、このヨルダン川の向こうにある。まず目の前の川を渡らなければ、神の御計画を果たすことは不可能である。このヨルダン川を渡るのは一つの試練である。川を横切るには、勇気と信仰と、ある程度の犠牲が要求される。また命がけの行為でもある。その意味を踏まえて神はヨシュアと民に要求した。ここから学ぶべきこと。私達は2020年に神が用意された御計画を全うするからには、何かと(ヨルダン川と同じ)試練を通らされる。その試練とは、今年の初めに中国から始まったコロナウイルスである。これによって病気や経済不況などのトラブルが続いている。こうした試練が何度も続いて来る事を心得ておく必要がある。

C—「私が与えようとしている地に行け」(2節)。こうした試練を乗り越えて、はじめて神の嗣業の地にたどり着くのである。ですから必ずと言って良いほどに何かの試練と言うものを避けられない。そこを通り抜けた者が、神の嗣業の地で思う存分奉仕できるのである。

D—神が人に与えている恵みの御計画は無限である(3～4)。神の恵みは人々の信仰とビジョンによるので制限はない。「あなたが足の裏で踏む所は、ことごとく与えている」。ですから、2020年は思い切り信仰とビジョンと言う神の賜物を利用して、広く高く深く求めて行きましょう。

だいに
第二： 神の約束。

A—「あなたの一生の間、誰ひとりとして、あなたの前に立ちはだかる者はない」(5節)。私達が神の御旨に服従して歩む時に、誰も私達の前に立ちはだかる者はいない。主が妨げる者を全て取り除いて下さるから、心配しなくても良い。

B—インマヌエルの主ご自身が私達の側に立って四方八方の敵から守ってくださる。神ご自身が私達のご臨在である。ハレルヤ。

C—神の答え。「強くあれ。雄々しくあれ。」6節。私達は主にあつて臆病者であつてはならない。勇気をいただいて、雄々しく堂々と胸を張って、主の奉仕に励みましょう。

だいさん かみ めいれい
第三： 神の命令。

A-「先祖に誓った地を、この民に継がせなければならないからだ」(7節)。これは神がヨシュアに語られた命令である。これは21世紀に生かされているクリスチャンたちに、イエス・キリストから約束された永遠の命、救い、聖潔を、礼拝や讃美、宣教を通して、世の人々に受け継がせる事を意味している。マルコ16章に言われているように、「全世界に出て行って、全ての造られた者に福音を伝えよ」と言う命令である。

B-「この掟の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もこれを口ずさまなければならない」(8節)。これは家庭内で神を賛美し、御言葉を読み、親子揃ってデボーションの時を持つ事を示している。まず父親が先頭に立って実行し、妻や子供達、婿や嫁に伝えて行くことが大切である。

C-「家の外でも口ずさまなければならない」。言うまでもなく、家の外で職場で道端で、福音を証して伝道する姿勢を絶えず保ち続ける事を意味している。

D-「これを右にも左にも逸れてはならない」。これは21世紀に住むクリスチャンが、世に妥協したり肉的な罪を愛して、御言葉からそれてはいけないと言う神の警告でもある。

けつろん みことば まも なに お せつ い ところ
結論。 御言葉を守るクリスチャンに、何が起こるでしょうか。 7節に「あなたが行く所では、どこでも栄える」。8節には「あなたのする事で繁栄し、また栄える」。ここで学んだ事を2020年に実行しようではありませんか。そうすれば年度末には、「私は大小の試練を通らされたけれども、霊肉の祝福、神の臨在、繁栄と栄を受けました。確かに主の約束は真実でした。主に感謝し礼拝と讃美を捧げます」と言う祈りで締めくくる事ができるでしょう。アーメン。